

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年2月22日

上場会社名 O a k キャピタル株式会社

(コード番号：3113 東、大、名 第二部)

(URL <http://www.oakcapital.jp>)

代 表 者 役職名 代表取締役会長 氏名 竹井 博康

問合せ先責任者 役職名 取締役兼専務執行役員
管理本部長

氏名 村尾 正和

T E L (03) 5412 - 7474

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 (一部、簡便処理方法の採用)
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 (退職給付引当金の退職給付会計基準変更時差異の均等償却から一括償却への変更)
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結 (新規) 3社 (除外) 1社 持分法 (新規) 1社 (除外) 1社

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況 (平成18年4月1日 ~ 平成18年12月31日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	17,139	21.1	△2,173	—	△2,157	—	△3,247	—
18年3月期第3四半期	14,156	33.7	—	—	—	—	—	—
(参考) 18年3月期	23,032		1,371		1,403		2,202	

	1株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	△15	68	—	—
18年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考) 18年3月期	9	91	8	98

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。
 2. 売上高以外の項目につきましては、当該四半期より開示を行っているため、前年同四半期の実績及び増減率は記載しておりません。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
19年3月期第3四半期	25,481		10,362		38.6	47	46	
18年3月期第3四半期	—		—		—	—	—	
(参考) 18年3月期	29,159		13,988		48.0	66	34	

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	24,000	1,500	1,400

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 6円76銭

現時点で、平成18年10月23日公表の業績予想に変更はありません。

※上記の業績予想には、本資料発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。したがって実際の業績は、経済、株式市況、その他様々な事業環境の変動に関するリスクや不確定要因により、上記記載の予想数値と異なる場合があります。
また、一般事業会社と異なり、相対的に少数・大規模の案件を、IPO、バイアウト等による投資回収に導く投資事業の事業特性から、短期における収益の平準化が困難であり、さらに、M&AやIPO実行後の保有株式には株価変動が生じ、投資回収のタイミングそのものの短期予測も困難であることから、半期ごとではなく通期の業績予想を行います。

経営成績（連結）の進捗状況

当第3四半期におけるわが国経済は、堅調な国内景気や原油相場の一服感などから、国内の株式相場全体が回復傾向にあり、当社の国内投資先上場会社の個別銘柄におきましても、概ね順調な各投資先の業績推移と相俟って、同様の効果が得られました。

このような環境の中で、当社の連結業績は、投資事業における短期運用による投資収益の拡大や、株式会社ダイフレックスホールディングスの傘下に編入し、前期末より連結対象に加えたICSガーランド社が連結収益に貢献し始めました。しかしながら、当社が売買目的有価証券として保有するバイオセンサーズ・インターナショナル・グループ株式の時価評価損11億51百万円を計上したため、連結売上高は171億39百万円の増収となりましたが、売上総利益は27億27百万円に留まりました。また、販売費及び一般管理費として49億円を計上したことにより、営業利益は△21億73百万円、経常利益は△21億57百万円となりました。さらにサミット・デザイン・テクノロジーズ・インク株式の売却に伴う特別損失約9億円の計上等により、四半期純利益は△32億47百万円となりました。

財政状態（連結）の変動状況

当第3四半期末の連結総資産は、前期末に比べ36億77百万円減少し254億81百万円となりました。連結負債は、前期末に比べ11百万円増加し151億19百万円となりました。連結純資産は、36億88百万円減少し103億62百万円となりました。主な要因は当四半期純損失の計上及び前期配当の実施によるものであります。この結果、連結自己資本比率は前期末比9.4ポイント低下し38.6%となりました。

なお、当第3四半期における主な投資活動としましては、当社及びりそな銀行、新光証券などからの出資により、オーナー系中堅・中小企業へのバリューアップ投資を主な目的とする投資ファンド「Oakキャピタル1号投資事業有限責任組合」を設立し、当社が業務執行組合員に就任いたしました。当社はプレIPO投資の一環として、同ファンドと共同で、電子部品開発の先端企業である新潟精密株式会社の株式（取得価額総額12億40百万円、発行済株式総数の4.1%）を取得いたしました。

また、余資の短期運用を目的とした有価証券取得なども行っており、それらの結果、当第3四半期末における投資残高は、営業投資有価証券88億25百万円、関係会社株式21億71百万円であります。

○添付資料

（要約）四半期連結貸借対照表、（要約）四半期連結損益計算書

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

区分	当第3四半期末 (平成18年12月31日)		前連結会計年度 (平成18年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金及び預金	4,459,015		11,076,384	
2. 受取手形及び売掛金	2,959,470		4,333,660	
3. 営業投資有価証券	3,749,760		3,925,634	
4. たな卸資産	1,956,661		1,441,968	
5. 短期貸付金	1,314,850		1,214,827	
6. その他	996,628		978,938	
7. 貸倒引当金	△59,994		△73,949	
流動資産合計	15,376,392	60.4	22,897,463	78.5
II 固定資産				
1. 有形固定資産	1,633,793	6.4	1,743,609	6.0
2. 無形固定資産				
(1) 営業権	—		455,480	
(2) 連結調整勘定	—		253,152	
(3) のれん	649,073		—	
(4) その他	70,816		106,421	
無形固定資産合計	719,890	2.8	815,054	2.8
3. 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	550,287		376,728	
(2) 営業投資有価証券	5,980,240		2,086,217	
(3) その他	1,454,565		1,515,725	
(4) 投資損失引当金	△100,026		△100,026	
(5) 貸倒引当金	△165,978		△227,470	
投資その他の資産合計	7,719,088	30.3	3,651,173	12.5
固定資産合計	10,072,772	39.5	6,209,837	21.3
III 繰延資産	32,671	0.1	52,274	0.2
資産合計	25,481,835	100.0	29,159,574	100.0

区分	当第3四半期末 (平成18年12月31日)		前連結会計年度 (平成18年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 支払手形及び買掛金	4,084,353		3,787,560	
2. 短期借入金	1,930,394		2,327,570	
3. 1年以内返済予定の 長期借入金	660,151		546,608	
4. その他	778,534		1,094,813	
流動負債合計	7,453,434	29.2	7,756,551	26.6
II 固定負債				
1. 社債	600,000		600,000	
2. 新株予約権付社債	5,000,000		5,000,000	
3. 長期借入金	994,541		816,822	
4. 退職給付引当金	436,179		437,652	
5. その他	634,862		496,770	
固定負債合計	7,665,582	30.1	7,351,244	25.2
負債合計	15,119,017	59.3	15,107,796	51.8
(少数株主持分)				
少数株主持分	—		63,498	0.2
(資本の部)				
I 資本金	—		7,964,055	27.3
II 資本剰余金	—		4,653,602	16.0
III 利益剰余金	—		1,471,093	5.1
IV その他有価証券評価差額金	—		△79,250	△0.3
V 自己株式	—		△21,220	△0.1
資本合計	—		13,988,280	48.0
負債、少数株主持分及び資本合計	—		29,159,574	100.0

区分	当第3四半期末 (平成18年12月31日)		前連結会計年度 (平成18年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(純資産の部)				
I 株主資本				
1. 資本金	7,964,055	31.3	—	—
2. 資本剰余金	4,235,075	16.6	—	—
3. 利益剰余金	△2,428,006	△9.5	—	—
4. 自己株式	△17,468	△0.1	—	—
株主資本合計	9,753,656	38.3	—	—
II 評価・換算差額等				
1. その他有価証券評価差額金	59,847	0.2	—	—
2. 繰延ヘッジ損益	4,634	0.0	—	—
3. 為替換算調整勘定	11,595	0.1	—	—
評価・換算差額等合計	76,077	0.3	—	—
III 少数株主持分	533,085	2.1	—	—
純資産合計	10,362,818	40.7	—	—
負債純資産合計	25,481,835	100.0	—	—

2. (要約) 四半期連結損益計算書

科目	当第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
	金額(千円)	百分比(%)	金額(千円)	百分比(%)
I 売上高	17,139,507	100.0	23,032,726	100.0
II 売上原価	14,412,201	84.1	15,302,812	66.4
売上総利益	2,727,305	15.9	7,729,914	33.6
III 販売費及び一般管理費	4,900,359	28.6	6,358,186	27.6
営業利益(△損失)	△2,173,054	△12.7	1,371,727	6.0
IV 営業外収益	159,692	0.9	223,034	1.0
V 営業外費用	144,532	0.8	191,394	0.9
経常利益(△損失)	△2,157,894	△12.6	1,403,367	6.1
VI 特別利益	107,059	0.6	3,503,465	15.2
VII 特別損失	1,141,243	6.6	2,592,041	11.2
税金等調整前四半期 (当期)純利益(△損失)	△3,192,078	△18.6	2,314,791	10.1
税金費用	53,720	0.3	112,120	0.5
少数株主利益	1,488	0.0	289	0.0
四半期(当期)純利益 (△損失)	△3,247,286	△18.9	2,202,381	9.6